

AICHI WOODY AWARD 2024

あいち
ウッディアワード
2024

第1回 | 設計コンペ 学生作品募集

創造しよう。木で進化する空間。

※画像はイメージです。

愛知県が誇る豊富な森林資源を活かした純木造建築物の設計アイデアを県内
在住または在学の建築を学んでいる学生のみなさんから募集いたします。

テーマ | 行くとたびに心惹かれる
オフィス・商業施設

登録申込
作品提出 | 2024年 6.10 [月] - 10.14 [月・祝]

一次審査 | 11.12 [火] | 最終審査 | 12.24 [火]

応募資格 | 愛知県に在住または在学の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、
専修学校、高校、専門学校に在籍している学生

賞 | 最優秀賞 1点【副賞 賞金10万円】 奨励賞 2点【副賞 賞金3万円】
優秀賞 2点【副賞 賞金5万円】 佳作 3点【副賞 賞金1万円】

詳しくは
こちらから
ご確認ください



審査委員長

手塚 由比
建築家
(株)手塚建築研究所代表



1969 神奈川県生まれ
1992 武蔵工業大学卒業後、
ロンドン大学バートレット校(ロン・ヘロンに師事)
1994 手塚建築企画を手塚貴晴と共同設立
(1997年手塚建築研究所に改称)
1999~ 東洋大学非常勤講師
2001~2020 東海大学非常勤講師
2006 カリフォルニア大学バークレー校客員教授
2023~ 東京大学非常勤講師

メッセージ

木造の建築は、環境に良いというだけでなく、建築としての
魅力があります。木造建築の魅力は、構造から仕上げまで
一貫して木で作れる純粋さ、そして木目を通してその木が生きて
いるときに受けてきた太陽の光や水の恵みが人に伝わって
くることにあるのではないかと思います。

今までコンクリートや鉄で作られてきたことが多かったオフィス
や商業施設を木造でデザインしてみましょう。街や人の暮らし
をより良く変えるような建築の提案を期待しています。

AICHI WOODY AWARD とは

森林は二酸化炭素を吸収して成長し、木材製品となった後も炭素として固定し続けることからカーボンニュートラル社会の実現に貢献するほか、木材は人に対し「リラックス効果」や「親しみやすさ」といった特性も持っており、環境配慮の面でも、快適な生活の実現を図る上でも、木材をこれまで以上に生活の中で利用していくことが望まれます。

愛知県は県土面積の4割を森林が占めており、その6割以上は人が植えて育てた主にスギとヒノキからなる人工林となっています。この人工林の8割以上が建築用材としての利用に適した46年生以上となっており、本格的な利用期を迎えています。

そこで愛知県では、建築を学んでいる学生の皆さんのアイデアを募集し、新たな木材利用の可能性を広げるため「AICHI WOODY AWARD」を開催します。

AICHI WOODY AWARD 2024 募集要項

応募資格

2024年6月10日時点で愛知県に在住または在学の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校、高校、専門学校に在籍している学生、またはこれらの学生により構成されたグループであること（構成員は3名以内とする）。

右の専用
Webページから
案内に従って
応募してください



応募方法

対象テーマ

『行くたびに心惹かれるオフィス・商業施設』

建築物の木造化の現状は、低層（3階建て以下）の住宅については8割以上が木造である一方で、非住宅部門では2割を下回っており、非住宅建築物の木造化の促進が木材利用の観点から重要です。そこで、木の持つ特性を生かし、従業員や訪れた顧客の方々が木の良さを実感できる建築物を目指しつつ、比較的木造化が取り組みやすい、低層小規模（3階建て以下、延床面積1,000m²以下）のオフィスや商業施設※について、愛知県産のスギ・ヒノキの一般流通材（105mm～120mm正角材、120mm×210mm板材等）を多用した純木造建築物を提案してください。

※商業施設：カフェ、スーパー、各種店舗等でオフィスも含めたこれらの混成施設も可とします。

提出物

A3サイズ（縦）2枚以内 作品の提出はデータ（PDF形式）提出とします。※詳細は上記専用Webページからご確認ください。

審査委員会（敬称略）

審査委員長 手塚 由比（株式会社 手塚建築研究所 代表）

審査委員 石井 隆司（公益社団法人 愛知建築士会 副会長）

山下 賢一（愛知県 建築局 公共建築部 住宅計画課 課長）

河崎 泰了（株式会社 竹中工務店 木造・木質建築推進本部 本部長付） 青山 義明（愛知県 農林基盤局 林務部 林務課 課長）

久保 久志（株式会社 東畑建築事務所 設計室 主管）

賞

最優秀賞 1点【副賞 賞金10万円】 優秀賞 2点【副賞 賞金5万円】 奨励賞 2点【副賞 賞金3万円】
佳作 3点【副賞 賞金1万円】

審査方法

○一次審査

期限までに提出された作品について、匿名非公開で審査を行い入賞作品8点を選定します（どの賞となるかはこの時点では決定しません）。選定結果については11月中旬頃に上記専用Webページで発表するほか、一次審査通過者に対して通知します。

○最終審査（二次審査）

一次審査通過者は、主催者が設定した会場（公開）においてプレゼンテーションを行います。全ての入賞作品の発表・質疑応答が終了した後、各賞について発表します。また、当日は審査委員長による講演も行います。